



湯之谷小学校だより

教育目標：一步前へ 自ら考え 力を合わせ やりぬく 令和6年6月20日

【学校HP】 <https://uonuma-school.com/ed05/>

学校田で田植え ～ 5年生：(有)サンライス様のご協力により ～

今年も、5年生が米作りに挑戦します。5月22日(水)。(有)サンライス様のご支援の下、みんなで楽しみながら田植えを行いました。泥に沈んだ足がなかなか抜けずに尻もちをついてしまう子もいましたが、なんとか全員で力を合わせて苗を植えることができました。水管理や草取りなど、サンライスさんをはじめとした皆さんに頼ってしまう部分も多いですが、「自分たちの米」としてできる限りかかわっていくようにしていきます。



茶々の会の皆さんのサポートに感謝！ ～ 6年生：調理実習 ～

6年生が、今年度最初の調理実習に取り組みました。今回のメニューは野菜炒め。包丁を手に野菜を切る様子は、大人からすると冷や冷やする場面ばかりですが、子どもたちは大胆に！進めていきました。茶々の会の皆さんに各グループに先生として入っていただき、アドバイスしていただきました。こうした活動では、安全管理の面からも、授業者一人だけでは心配なことも多いのですが、茶々の会の皆さんにご参加いただき、本当にありがたかったです。茶々の会の皆さんに限らず、保護者の皆さんからも、今後このような活動では遠慮なく参加についてご相談ください。お待ちしております。



自主的あいさつ団誕生！ ～ 朝の登校風景 ～

校長は毎朝、校門付近で登校してくる子どもたちにあいさつをしています。5月ころから自主的に一緒にあいさつをする子が6年生を中心に現れました。やはり、子どもたち同士のつながりは強力です。最初は6年生1、2人で始めたのが、少しずつ加わる子が増えています。中には、あいさつ運動をしているというより、じゃれ合っているだけのような子もいますが、それでも校門のところに何人かがいて



あいさつの声が聞こえるというのは、他の子にも伝わるところがあるようです。今後も継続、拡大することを心の中では願っていますが、決して強制せず、見守っていこうと思います。

6年生が佐渡に修学旅行に行ってきました！

6月18日(火)19日(水)の2日間、6年生が佐渡へ修学旅行に行ってきました。奇跡的に梅雨入りを免れ、全行程を全力で楽しむことができました。魚沼の子どもたちにとって、海にかかわる活動は貴重と考えています。佐渡が世界遺産登録となった場合も、引き続き佐渡での修学旅行が実施できることを願っています。



第1回学校運営協議会が行われました ～ コミュニティ・スクール ～

5月31日(金)。今年度1回目の学校運営協議会が行われました。今年度は、地域学校協働本部の地域コミュニティ協議会の会長様も代わり、学校運営協議会のメンバーも新しい顔ぶれになったため、これまでの取組と今後の方向性について説明し、概ねご了承いただきました。コミュニティ・スクールの取組は、「ボランティアを募集するなど、学校や子どもたちのために何かをする」というより、



「子どもたちとともに活動して、一生懸命な大人の姿を見せる」ことが何より大事だと考えます。楽しそうに活動したり、全力で物事に打ち込んだり、子どもたちと積極的にかかわったりする大人の姿が、子どもたちの成長に、ひいては地域の活性化に間違いなくよい影響を与えるはずです。保護者や地域の皆様から、今後も気軽にいろいろな活動に参加・協力していただけることを願っています。

【地域学校協働本部】

- 星 勉 様 (井口新田・大下コミュニティ協議会会長)
- 佐藤 鈴子 様 (薬師・鳴倉コミュニティ協議会会長)
- 佐藤 家康 様 (東湯之谷コミュニティ協議会会長)



【学校運営協議会 委員】

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ○ 桜井 正弘 様 (井口・大下コミ協) | ○ 小幡 賢之 様 (薬師・鳴倉コミ協) |
| ○ 佐藤 卓摩 様 (東湯之谷コミ協) | ○ 三友 一郎 様 (友家ホテル) |
| ○ 星 勝義 様 (ゆ〜パーク薬師) | ○ 品田 美幸 様 (地域コーディネーター) |
| ○ 関 昌宏 様 (R6湯小PTA会長) | ○ 林 穂高 様 (R6湯中PTA会長) |

「眠育 (みんいく)」に取り組みます

今年度、湯之谷中学校と合同で、「眠育」に取り組みます。「眠育」とは簡単に言うと、「睡眠の重要性を確かめ、必要な睡眠量を計画的に確保しようとする活動」です。子どもたち自身もおうちの方も、適正な睡眠が成長に不可欠であることは「頭では」分かっているはずですが、しかし、実際の生活では、家庭学習や習い事、メディアなどいろいろな要因により、睡眠量が不足しがちな子が多いのが実態です。保護者の皆様が、お子さんの睡眠の実態を把握し、お子さんと一緒に



適正な睡眠の確保に向けて具体的に取組を進めていただくのが目的です。今後、学校でも継続的に指導していきます。ご家庭でも、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。